

ANNUAL REPORT₂₀₂₂

第59期 株主通信

2022.4.1~2023.3.31

 **青山商事株式会社**

[証券コード：8219]



2023年3月期総括

株主の皆様におかれましては、日頃より青山商事グループに対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な資源価格の高騰等による物価上昇や、インフレ抑制のための欧米の利上げに伴う円安など、依然先行き不透明な状況は続いておりますが、ウィズコロナの浸透による社会経済活動の正常化や政府による各種政策の効果もあり、個人消費などが緩やかに持ち直してきました。このような環境下、主にビジネスウェア事業、総合リペアサービス事業及びフランチャイジー事業の業績が改善し、堅調に推移したことなどから、売上・利益ともに前年を上回る結果となりました。

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要事項のひとつと捉えており、現中期経営計画「Aoyama Reborn 2023」において、連結総還元性向30%を目安とした還元方針としております。この方針に基づき、当期の期末配当につきましては、1株当たり26円とさせていただきますようお願いいたします。2024年は当社創業60周年を迎える記念すべき年であり、皆様のご期待に応えられるよう引き続き努めて参ります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

青山 理

売上高

(単位:百万円)



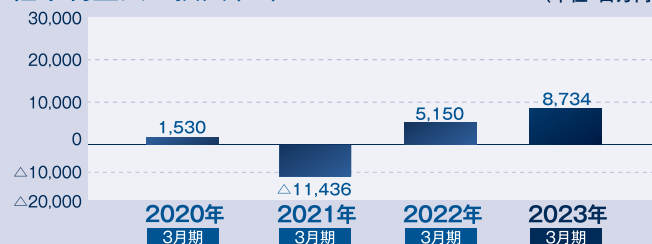
営業利益又は損失(△)

(単位:百万円)



経常利益又は損失(△)

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失(△)

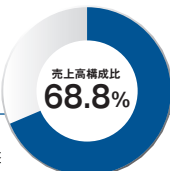
(単位:百万円)



セグメント

ビジネスウェア事業

青山商事(株)/ブルーリバーズ(株)/(株)エム・ディー・エス/(株)栄商/服良(株)/青山洋服商業(上海)有限公司/メルボメンズウェア(株)



当事業の売上高は1,263億79百万円(前期比111.6%)、セグメント利益(営業利益)は31億56百万円(前期比465.3%)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)ビジネスウェア事業につきましては、約2年間コロナ禍で停滞していた買い替え需要や行動制限緩和によるオケージョン需要の回復が見られ、主力アイテムであるメンズスーツやフォーマルウェアの売上が前期を上回ったことなどから、ビジネスウェア事業既存店売上高は前期比111.7%となりました。

なお、メンズスーツの販売着数は1,214千着(前期比99.9%)、平均販売単価は28,794円(前期比107.6%)となりました。

当連結会計年度より、(株)エススクエアードの発行済株式の全てを取得し完全子会社化したことにより、持株会社である(株)エススクエアード及びその傘下のグループ会社でありオーダースーツブランド「麻布テーラー」を展開するメルボメンズウェア(株)、メルボ紳士服工業(株)の計3社を連結の範囲に含めております。なお、(株)エススクエアードは、メルボメンズウェア(株)を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(単位:百万円)

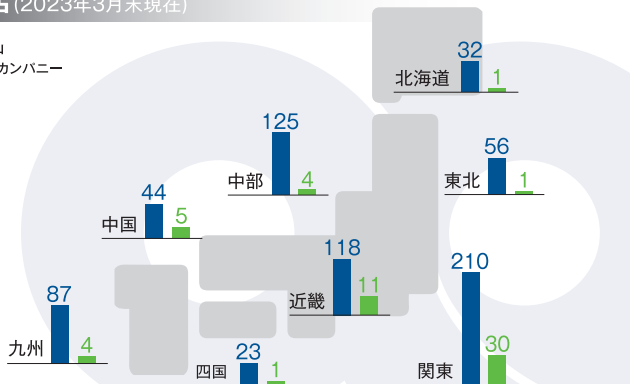
■青山商事(株) ビジネスウェア事業 商品別売上高	前期	当期		
	金額	金額	比較増減	
重衣料	スーツ・スリーピース	32,507	34,798	2,291
	ジャケット	2,997	3,412	414
	スラックス	4,358	4,671	313
	コート	2,408	2,197	△211
	フォーマル	14,127	17,218	3,090
軽衣料	ベスト	829	1,094	265
	シャツ・洋品類	18,646	20,278	1,631
	カジュアル類	2,333	2,625	291
	その他商品	8,943	9,461	517
レディス類	21,247	21,843	595	
補正加工費	3,281	3,558	277	
合計	111,680	121,159	9,478	

(注)1.その他商品は、靴、肌着、雑貨等です。

2.レディス類には、レディススーツ、レディスフォーマル、レディス洋品類、パンプス等が含まれております。

営業店 (2023年3月末現在)

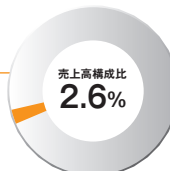
■ 洋服の青山
■ ザ・スーツカンパニー



(注)「ホワイト ザ・スーツカンパニー」、「ユニバーサルランゲージ」、「ユニバーサルランゲージ メジャーズ」及びアウトレット業態については、「ザ・スーツカンパニー」に含めております。

カード事業

(株)青山キャピタル



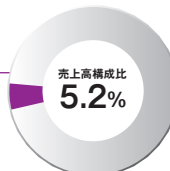
当事業につきましては、外出機会の増加などに伴い、ショッピング及びキャッシング取扱高が増えたことなどから、売上高は50億13百万円(前期比103.6%)、セグメント利益(営業利益)は22億5百万円(前期比110.9%)となりました。

なお、資金につきましては、親会社であります青山商事(株)等からの借入と社債の発行により調達しております。

また、2023年2月末の有効会員数は400万人であります。

印刷・メディア事業

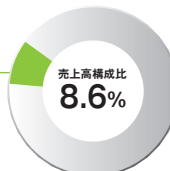
(株)アスコ



当事業につきましては、チラシやDM、デジタル販促関連の売上が回復したことや、新規でタクシーサインage端末などデバイス関連の売上があったことなどから、売上高は122億99百万円(前期比101.2%)、セグメント利益(営業利益)は5億14百万円(前期はセグメント損失(営業損失)3億37百万円)となりました。

雑貨販売事業

(株)青五

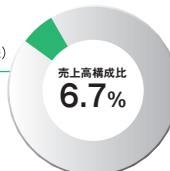


当事業につきましては、行動制限の緩和などによる巣ごもり需要の減少に加え、水道光熱費やキャッシュレス決済手数料などのコストが高んだことなどから、売上高は157億31百万円(前期比98.1%)、セグメント利益(営業利益)は2億33百万円(前期比47.8%)となりました。

なお、2023年2月末の店舗数は113店舗であります。

総合リペアサービス事業

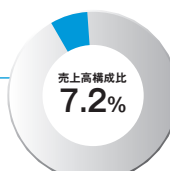
ミニット・アジア・パンフィック(株)



当事業につきましては、人流回復やサービス価格改定などにより、日本事業の売上が回復したことに加え、すでに回復していた海外事業の売上がさらに伸長したことなどから、売上高は123億82百万円(前期比121.9%)、セグメント利益(営業利益)は2億93百万円(前期はセグメント損失(営業損失)5億19百万円)となりました。

フランチャイジー事業

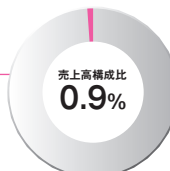
(株)glob



当事業につきましては、行動制限の緩和などにより、フードサービス事業の売上がコロナ禍前(2020年3月期)水準まで回復したことや、コロナ禍を追い風に、リユース事業の売上が大幅に伸びたことなどから、売上高は131億57百万円(前期比120.0%)、セグメント利益(営業利益)は8億72百万円(前期比413.7%)となりました。

その他

(株)WTW/(株)カスタムライフ



その他の事業につきましては、売上高は16億54百万円(前期比100.7%)、セグメント損失(営業損失)は3億16百万円(前期はセグメント損失(営業損失)2億30百万円)となりました。

なお、2023年3月末の「ダブルティー」の店舗数は7店舗であります。

(注)1.本資料に記載の金額は単位未満を切り捨てております。

2.「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降に係る数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、2021年3月期以前と収益認識に関する会計処理が異なっております。

会社概要

社名	青山商事株式会社
設立	1964年5月6日
資本金	625億4百万円
従業員数 (2023年3月31日現在)	6,638名(4,158名)(連結) 2,901名(2,517名)(単体) (注)〔 〕内は臨時従業員であり、外数で記載しております。
事業所	本社 広島県福山市王子町一丁目3番5号 東京オフィス 東京都台東区上野四丁目5番10号TSC TOWER 3階~7階 神辺商品センター/井原商品センター/田川商品センター/千葉センター/ ロジスティクスセンター横浜町田

株主優待割引券のご案内

毎年3月31日及び9月30日現在の当社の株主の皆様には「株主優待割引券(20%OFF)」をご送付申しあげております。

株主優待割引券の発行基準

毎年3月31日及び9月30日現在の株主名簿に記録された株主各位に対し、そのご所有株式数に応じ、次のとおり株主優待割引券を発行いたします。



所有株式数

100株以上1,000株未満……3枚
1,000株以上3,000株未満……4枚
3,000株以上……5枚

有効期限

対象株主の確定日	郵送時期	有効期限
3月末日現在の株主	同年7月上旬	翌年6月末日
9月末日現在の株主	同年12月上旬	翌年12月末日

取扱い店舗

「洋服の青山(中国含む)」「スーツスクエア」「ザ・スーツカンパニー」「ホワイト ザ・スーツカンパニー」「ユニバーサル ランゲージ」「ユニバーサル ランゲージ メジャーズ」「麻布テーラー」「WTW(ダブルティアー)」にてご利用いただけます。

(注)各オンラインショップ及びアウトレット業態ではご利用いただけません。

株主メモ

事業年度： 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会： 毎年6月開催

基準日： 定時株主総会 期末配当金 中間配当金
毎年3月31日 毎年3月31日 毎年9月30日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)

単元株式数： 100株

公告方法： 当社ホームページに掲載いたします。ただし、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 <https://www.aoyama-syouji.co.jp>

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関： 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人： 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)： 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)： 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

(インターネットホームページURL)： <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

▶ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

▶ 特別口座に関する手続きについて

2009年1月5日より、当社をはじめすべての上場会社の株券は、一斉に電子化されております。これに伴い、従来の株券は無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社を通じて証券保管振替機構(「ほふり」)で管理されております。また、株券電子化のお手続きがお済みでなかった株主様の権利は現在、三井住友信託銀行株式会社(特別口座の口座管理機関)の特別口座にて管理されており、お手元の株式を売却するには、証券会社に口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

詳しいお手続きに関しましては、上記の電話照会先にお問い合わせください。

上場証券取引所：東京証券取引所 プライム市場